

令和5年度 施設自己評価結果報告書

学校法人蒲原学園
清水やぐらこども園

1. 本園の教育目標

目指す子どもの姿

- ・健康で明るい子
- ・心豊かな子
- ・自分の考えを持ち主体的に活動できる子
- ・体を鍛え、粘り強い子
- ・適応力を身に付けて協調性に富んだ子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画・結果

目標：心身ともに健やかな育成のため、豊富な経験を通して何事にも取り組む意欲を身に付ける

計画：積極的な行事開催や、食育・季節イベントで子どもたちに様々な経験を提供する

結果：いろいろな行事やイベントが実施され、目標は達成できたと考える

3. 令和5年度の報告

園内の環境も整い、園庭の工事なども進んだため、子どもたちの遊びや経験の場が増え、楽しい園生活を提供することができた。

体操教室・絵画教室・イングリッシュタイムなども指導が行き渡り、子どもたちの参加意欲が高まっている。そのため成果にもつながっている。

南海トラフの発生注意が出るなど、地震についての関心が高まった年度となった。毎月の訓練もしっかりと行い、備蓄物の確認や避難行動のマニュアル確認などを実施し、災害に備える準備ができた。

4. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組み内容及び評価理由
感染症対策の徹底	A	感染症対策への意識が高まったため、コロナウイルスに限らず、インフルエンザの感染拡大も抑えられた。
職員の資質向上の促進	A	今年度から集合型の研修にも参加できた。研修内容を園内で共有するための園内研修も行う事ができた。
保育環境の向上	B	備品の充実により、保育環境は継続的に良くなっている。今後も細部に渡り、安全で楽しい環境を構築する。

※評価基準 A：充分達成 B：達成 C：成果が不十分 D：取組が不十分

5. 今後取り組むべき課題

やるべきこと・やりたいことのバランスを考え、子どもたちの体力や集中力に合わせたカリキュラムの構築が必要となってきた。

子どもの目線に立った、子どもの利益を最大限にできる保育を考え、実践していく。

6. 来年度に向けて

園行事のあり方、保育のあり方など、ここ数年で乳幼児保育を取り巻く環境が変化している。

他園への訪問、公開保育などを通して情報交換し、新しい保育のあり方を吸収していく。

7. 学校関係者からの評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められました。

8. 財務状況・会計監査について

公認会計士による会計監査により、会計が適性に処理されていると認められました。

9. 静岡市による私立こども園監査について

文書による指摘事項はありませんでした。